

平成 29 年 青年局 活動方針

先の衆議院議員総選挙は、党組織が一致結束して臨んだ結果、全選挙区で勝利を収めることができた。

しかし、われわれはこの勝利に決しておごることなく、いかなる状況においても勝てる強靱な党組織の構築に全力を傾けるとともに、党政策への理解を求める広報活動、若者・無党派層への支持拡大に向けた活動を積極的に展開していく。

1、選挙必勝に向けた組織づくり

第48回衆議院議員総選挙は、区割り改定による新しい選挙区での選挙であったにも関わらず、全市町村で勝利することができたのは、支部組織・党員が候補者と一体となり活動することができたからに他ならない。

次期政治決戦の場を見据え、日常活動を通じ組織の点検・強化に努め、いかなる状況でも勝ち抜く態勢を構築するため、候補者、市町村支部、職域支部間の連携強化を図り、選挙時には100%の力を発揮することができるよう党活動を展開していく。

具体的には、地域の実情を踏まえ、青年部長・青年局長未設置支部の解消に努めるほか、部長・局長のみならず、青年党員が参加し易い活動となるよう参画機会の拡充を図り、全青年党員が自覚を持って活動できる体制づくりに取り組む。

2、研修活動の強化

青年党員一人ひとりの政治意識向上を図るため、地域ごとに参加可能な研修・交流の場を設けるとともに、他青年団体とも積極的に交流し新規友好団体の開拓に繋げる。

また、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられ、これまで以上に若者の政治参画が重要となっていることから、将来を担う若い世代の声を広く政治に反映させるため、対話集会など党員以外の方が参加できるイベントを企画し、政治・選挙への参加を促す取り組みを進める。

3、街頭活動の強化

自らの理念や政策を直接国民・県民の皆さまに訴え、多くの理解者を得ることは政治活動の基本である。

われわれは街頭行動を活動の基本とし、「全国一斉街頭行動」や各級選挙での効果的な街頭活動を積極的に実施する。

また、東日本大震災の被災者支援、風評被害対策といった支援活動を長期的・継続的に実施していく。

4、青年部の設置

選挙結果に大きな影響を与える無党派層への支持拡大のためには、若年層への働きかけが不可欠である。

党内での世代交代を一層促進し、新しい人材の育成と党の長期的な発展のため、18歳から35歳までの党員で構成される青年部の設置を目指す。